

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年		3年生	
教科等名		数学		グループ名		2グループ	
ねらい		・日常生活に必要な数量を理解するとともに、具体物や電卓を使って簡単な計算ができる。 ・「多い、少ない」「重い、軽い」等の比較をし、区別する力を養う。 ・数学的な考えや方法の良さを理解し、生活の中で生かそうとする態度を養う。					
担当教員		○臼井 雅 片田 啓					
年間授業時数		66					
使用教科書		くらしに役立つ数学 東洋館出版					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
通 年	時間と時刻	通年	○	・デジタル時計、アナログ時計の読み	・授業の開始時刻等が分かり、生活の中で活用できるようになる。	・授業の始めに毎時間行い、定着を図る。 ・視覚的に分かりやすいように模擬時計、タイムタイマーを用いる。	
4 9	整数の加法	31	○	・数の単位 ・1桁繰り上がりのない加法 ・文章問題	・正確に具体物を数えられるようになるとともに、その物によって単位が違うことを知る。 ・具体物や電卓を用いて計算の仕方を身に付ける。	・興味をもてるように身近な具体物を用いる。 ・必要に応じて、電卓を活用しながら、繰り返し行い、学習の定着を図る。 ・ロールプレイング形式で文章問題に取り組む。	
	順番、位置		○	・平面での上下左右の位置	・ものの位置の表し方について理解する。 ・ものの位置を数を用いて表現する方法を考えることができる。	・ゲーム感覚で楽しんで取り組むことができるようにする。 ・教室のロッカーや棚など身近なものを使用する。	
	重さと量		○	・量や重さの比較 ・計量	・日常的に目にする重さを測定し、比較できる。 ・決められた重さをはかりを使って量ることができる。	・身の回りにあるものを教材にする。 ・10や20など切りのよい数字から量っていく。	
10 3	重さと量	35	○	・量や重さの比較 ・計量	・日常的に目にする重さを測定し、比較できる。 ・決められた重さをはかりを使って量ることができる。	・身の回りにあるものを教材にする。 ・10や20など切りのよい数字から量っていく。	
	数量		○	・名称と金種の一致 ・金種と金額	・金種を組み合わせて、値段の合計の計算をすることができる。 ・お釣りの計算をすることができる。	・生活に結び付くように模擬通貨を用いる。 ・計算アプリを使用し、お釣りの確認をし、実践的に学習する。	
	図形			・絵合わせ ・型はめ	・図形を構成する位置関係に着目し図形の合同について理解する。 ・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解する。	・興味関心がもてる図柄を用意する。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	3年	
教科等名		数学		グループ名	3グループ	
ねらい		・計算、計測、買い物など、生活の中で必要な数学的な知識や技能を養う。 ・計算、計測、買い物でのお金のやり取りなど、目的に応じた方法で考え、答えを出す力を養う。 ・数学的な考えや方法の良さを理解し、生活の中で生かそうとする態度を養う。				
担当教員		○中西 弘樹				
年間授業時数		66				
使用教科書		くらしに役立つ数学 東洋館出版				
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・整数の加法及び減法、乗法	通年	○	・2桁と1桁、2桁同士の繰り上がりのある加法 ・繰り下がりのない2桁と1桁、2桁同士の減法の筆算 ・1桁同士の乗法の計算 ・簡単な文章題	・繰り上がりの法則がわかる。 ・数が大きくなっても、手順通り計算をすることができる。 ・かけ算九九を覚えて、活用することができる。 ・文章内にある言葉をヒントに正しい計算式を作ることができる。	・興味をもてるように身近な具体物を用いる。 ・必要に応じて、電卓を活用する。 ・繰り返し行い、学習の定着を図る。
4 5 6 7	・時間と時刻 ・順番、位置	23	○	・何分後、何分前の時刻 ・休日の時間表作り ・図形の性質 ・三角形と四角形	・何分前、何分後の時刻が分かる。 ・生活時間表を見て、時間の割り振りが分かる。 ・図形の特徴をつかみ、仲間分けができる。	・模型を使用するなど、具体的な操作も取り入れる。 ・図形の特徴をつかめるように、簡単な作図を行う。
9 10 11 12	・順番、位置 ・重さと量 ・数量	26	○	・三角形と四角形 ・単位 ・合計金額とお釣り	・図形の特徴をつかみ、書くことができる。 ・はかりを正しく使って、いろいろな物を量ることができる。 ・タブレットや計算機を使って、正しい金額の支払いができる。	・図形の特徴をつかめるように、簡単な作図を行う。 ・自分たちの生活で使用する物を中心に扱い、意欲的に活動できるようにすすめる。 ・タブレットを使うなどして、具体的に店員と客のやり取りを入れ替りながら行う。
1 2 3	・数量 ・計算	17	○	・合計金額とお釣り ・少数	・計算機を使って、お釣りが正しいか確認できる。 ・少数の表し方や意味が分かる。	・タブレットを使うなどして、具体的に店員と客のやり取りを入れ替りながら行う。 ・身の回りにある少数の表示を扱う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	3年	
教科等名		数学		グループ名	4グループ	
ねらい		・四則計算の意味を理解し、計算ができるようになる。 ・具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えることができる。 ・数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
担当教員		○柳 早苗 高田 京子				
年間授業時数		66				
使用教科書		くらしに役立つ数学 東洋館出版				
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	計算トレーニング	通年		・百マス計算 ・数学ゲーム ・カレンダーなど	・数学への苦手意識を克服し、数字の面白さに気付くことができる。	・個々の段階に合わせたものを用意する。
4 7	数量(数と計算)	26	○	・四則計算 ・整数 ・小数 ・分数 ・概数 ・長さ ・時間と時刻	・暗算、筆算、電卓等を使用し、基礎的な四則演算ができる。 ・5桁以上の数の計算や大小比較ができる。 ・小数の大小比較、計算ができる。 ・分数の理解を深める。 ・四捨五入や切り上げ、切り捨てができる。 ・時間の計算や時刻表に関する問題を解くことができる。	・意欲をもって学習できるように、アプリ等を活用する。 ・段階的に桁を増やし、学習しやすいようにする。 ・金銭や人口など、生活に身近な題材を取り扱う。 ・時刻表や集合時刻からの逆算など生活に活かせる学習を行う。
9 10	図形	11		・図形の種類 ・図形の作図 ・面積の計算 ・立体	・図形ごとの特徴が分かる。 ・道具を用いて作図ができる。 ・三角形や台形の面積の計算ができる。 ・見取図について知ることができる。 ・立体についての理解を深める。	・動画等を用いて、視覚的に理解できるようにする。 ・段階に応じて、平面図形から立体図形へと内容を発展させる。
11 12	重さと量	11		・重さと量の比較 ・重さと量の単位	・重さや量について比較ができる。 ・重さや量の単位がわかる。	・導入として動画を見せ、基本を確認できるようにする。 ・生活に身近な題材を取り扱う。
1 2	データの活用	12	○	・グラフの読み取り ・データの活用	・数量の関係を円グラフや帯グラフに表したり、読み取ったりすることができる。 ・目的に応じてデータを集めたり、データの特徴や傾向に気付くことができる。	・タブレット端末のグラフ作成機能を活用する。 ・1か月の生活費や天気予報など、身近で社会生活に活きる題材を取り扱う。
3	まとめ	6		・1年間の振り返り	・1年間学習した内容を確認し、定着させる。	・段階に応じたワークシートを用意する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。